

明塾新聞 二月号

すぐぐらだより



講師挨拶 中山先生



いますぐがいい

—また こんどね

と幼い子にいった おまな

—また こんどとか

いつかとか いわないで

いますぐがいい

といわれた

わたしも

いますぐがいい

幼い子は、好奇心のかたまり、エネルギーシユな活動はそのあらわれです。目に触れるもの・耳にするもの・さわるものすべ

てが新しく、不思議に満ちています。「いますぐがいい」は、その不思議な事物と対峙する幼子の、旺盛な好奇心が言わせることばです。

この詩には「いますぐがいい」がふたつあります。ふたつめを言う「わたし」はこの詩の作者まど・みちおさんに、百歳になったまどさんに、次のようなことばがあります。

「一生のうち、どの部分を とつても、全部が貴重なんですよ。『いま』がその、いちばん最後の時期。」

自分がこの地球上にいられる時間はもう限られているかもしれない。だからこそ、何かと出会えた時の驚きや喜びを少しでも多く噛みしめることができるように—そんな願いが「いますぐがいい」にこめられています。

一瞬一瞬を大切に積み重ねて生きることに。

「いますぐがいい」はその叫びであり、その好機を逃したら二度とかえらない瞬間であると思います。



塾生の声

西城陽高校三年生、今阪萌夏さんが、近畿大学に合格されました。喜びの声をまとめていただきました。



高校二年の冬、新型コロナウイルスが流行り始め、私の学校生活は一変しました。三年になってからもしばらくは登校することができず、家で課題をし、学校に行けるようになってからもういったいこれから自分達の受験がどうなるの

かわからず、心配しながら受験への準備を進め、勉強していました。センター試験から共通テストへ変わる節目で、ただでさえ忙しい一年になりそうだと思っていた矢先のことで学校も対応に追われ、自分達のことは自分達でなんとかするしかなく、外部の模試を受けたり、大学について調べたりと、さらに忙しく日々が過ぎていき、いつの間にか受験日当日になっていました。受験を受け、後は結果を待つだけであった約二週間は気を抜くことができませんでしたが、無事に受かっていて、とても安心しました。まだまだこれから受験の方もいらっしやると思いますが、頑張ってください。



募集!

続けていこう

「継続は力なり」と言いますが、みなさんは何か続けていることはありますか？毎日漢字五個覚える！スクワット十回する！お手伝いを一つする！など何でもいので教えて下さい。これから続けたいと思うことでも結構です。

【応募方法】文章、写真、イラスト等、すべて用紙は自由です。お名前を記入して、担当の先生にお渡し下さい。次号で紹介させて頂きます。

【締め切り】二月十五日(月)  
【特典】先着十名様に図書カード五百円分を進呈させて頂きます。

は、お休み  
サクラからのクイズ いたしました。一月号の答えです。

